

2026年3月30日  
商工中金

**地域金融機関と協調し、BCP対策に取り組むたつみ産業株式会社に対し、  
シンジケートローン形式で災害対応型コミットメントラインを締結**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の佐世保支店は、たつみ産業株式会社（本社：長崎県佐世保市、代表者：西田 剛）に対し、シンジケートローン形式での災害対応型コミットメントライン（※）10億円を開設しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、佐賀銀行、西日本シティ銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

同社は、碎石の販売や産業廃棄物の中間処理・リサイクル事業等を手掛けています。2024年3月には、中小企業庁が実施する「はばたく中小企業小規模事業者300社」（※）に選定されています。

（※）経済社会構造の変化に対応して事業変革や新規事業に挑戦し、地域経済や日本経済の成長への貢献が期待できるモデルとなる中小企業を表彰する制度

今回、同社は日本各地で相次ぐ自然災害発生時のBCP対策のため、大規模自然災害の発生等が金融機関の貸付不能事由になりうる一般的なコミットメントラインではなく、地震等の大規模自然災害発生時にも安定した資金調達が可能な「災害対応型コミットメントライン」の導入を計画しました。これにより、大規模自然災害発生時においても販売先の要望に迅速かつ柔軟に対応できるよう、円滑な資金調達手段を確保して事業の継続性を高め、ステークホルダーからの信頼を高めていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を行い、同社の強みや財務上の課題を共有。災害時にも安定的な産業廃棄物の受入が求められることを確認し、同社のBCP対策の一環として、有事の災害に備え、災害発生時にも安定して資金調達が可能な災害対応型コミットメントラインを開設しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、関係機関等と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

**【たつみ産業株式会社の概要】**

所在地	長崎県佐世保市木風町1468-1	資本金	2,000万円
代表者	西田 剛	従業員数	36名（2026年2月時点）
業種	採石業、産業廃棄物処理業	設立	1962年5月

# NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



## 【シンジケートローン形式・災害対応型コミットメントライン契約(※)の概要】

コミット総額	10億円
契約締結日	2026年3月27日
アレンジャー兼エージェント	商工中金 7億5,000万円
参加金融機関	佐賀銀行、西日本シティ銀行 合計2億5,000万円
コミット期間	2026年4月30日～2027年4月30日(更新OP4回)
特徴	<u>神奈川県、愛知県、京都府、山口県及び長崎県における震度6弱以上の地震発生時にも、コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能。</u>

(※) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。